



日本技術士会国際委員会

「近畿本部における中国との 技術交流の現状」

2017年6月24日(土)

近畿本部登録中国研究会会長・幹事長

衛生工学 掛田健二




目次

1. 近畿本部 「日中科学技術交流・視察団」の歴史
2. 2015日中科学技術交流・視察団 からの長期交流テーマ
3. 2017中国研究会総会資料
 - 1)2016年活動報告 例会他開催実績
 - 2)2017年活動計画
4. 中国研究会例会 話題提供 2016－2017
5. 2016訪中団日程・2017年訪中団日程(案)

参考資料1: 中国人材交流協会・人材派遣会社からの募集事例

- 1) 中国紡績会社の行程改善提案: 繊維技術協会への紹介と中断
- 2) 上海市の民間人材派遣会社からの募集
- 3) 個人・企業契約による技術コンサルタント: 上海市、台湾、ベトナム

2016江蘇省工程師学会発表者 経歴 掛田

技術士 経歴紹介 : 氏名 掛田健二		
技術士部門 選択科目	衛生工学 (汚物処理。現在名は廃棄物処理)	
専門事項	廃棄物焼却・熱分解、廃棄物Recycle。省・創Energy。産官学連携・特許調査。	
技術士登録	文部科学省登録番号16335(1983年合格)	
他資格	エネルギー管理士(熱)、公害防止管理者(騒音)	
事務所	掛田技術士事務所	
経歴	1970 名古屋工業大学機械工学科卒業 1972 名古屋工業大学大学院工学研究科(機械工学専攻)修了、工学修士 1972-2008 Hitz日立造船株にて技術職。技師長。舞鶴工場長。 2008-現在 掛田技術士事務所	
実績	1972-2008 Hitz日立造船株にて廃棄物発電設計・建設従事。運転制御・公害防止機器開発。東京で産官学連携業務。大阪・舞鶴で開発企画・管理担当。 2008-現在 技術Consultant。地裁・高裁技術鑑定員。中小企業技術移転支援。 参加学会:廃棄物循環資源学会、JSME、Energy・資源学会、経営行動研究学会 技術士会他:近畿本部衛生工学部会、中国研究会。京都技術士会。日立関西RG。	
ひとこと	国内外企業・団体との公正で有益な技術交流。	作成:2016.10.16

ふりがな	かけだ けんじ	Given Name	Surname	出生年月日	年齢	性別
氏名	掛田 健二	Kenji	KAKEDA	1947/1/2	67	男
現住所	〒595-0072	大阪府泉大津市松之浜町1丁目12-3		Tel.0725-21-4949		
勤務先	掛田技術士事務所 所長			Tel.080-1433-8731		
E-mail : kakeyan_ken@tea.odn.ne.jp						
職務に関する資格・免許等(取得年)、所属学会						
技術士	衛生工学部門(汚物処理)(1983年合格、登録番号16335)					
その他	エネルギー管理士(熟)(登録番号869)、					
所属学会	(公社)日本機械学会、(公社)廃棄物資源循環学会、エネルギー・資源学会、経営行動研究学会					
技術士会活動 (近畿本部)	登録中国研究会会長・幹事長、衛生工学部会副部長、環境研究会、京都技術士会、日立技術士会関西RG会。 2012第39回全国大会(大阪)運営委員、2010-2014日中科学技術交流実行委員					
職種に関する受賞歴(受賞年)						
(社)日本環境衛生施設工業会 会長表彰(1997)、(社)日本産業機械工業会 産業機械工業功績者表彰(2004)、 日本技術士会近畿本部長表彰(2013)。						
職歴						
1972	名古屋工業大学大学院工学研究科(機械工学専攻)修了、工学修士					
	Hitz日立造船株式会社 勤務					
1972-2008	環境事業本部環境設計部、技術開発本部、環境事業本部技術情報部長・開発企画部長(東京)、環境開発総合センター長(舞鶴)、技師長、舞鶴工場長、定年退職。 特許:提出84件(ごみ焼却、汚泥混焼、運転制御、他)、特許成立32件					
2008-現在	掛田技術士事務所 所長					
その他	(NPO)資源リサイクルシステムセンター(2009)、(NPO)豊中・伊丹環境政策フォーラム(2011)、(株)KAK顧問(2012-2013)。文科省科学技術研究所技術動向調査員、(独)NEDOピアレビュー委員					
主な技術業績(技術開発)						
1973-1976	堺市東清掃工場(都市ごみ焼却工場) 設計主務。無触媒DeNOx処理					
1976-1981	廃棄物ガス化炉開発(厚生省補助金対策施設認可)。既設焼却炉能力増強					
1982-1986	乾式HClガス除去、汚泥混合焼却、木質チップ燃料発電所改造、					
1987-1992	ごみ焼却プラントエキスパートシステム、Fuzzy燃焼制御、PERT工程管理					
1993-2004	東京支社にて産官学連携業務。環境装置業界・学会の技術委員、企画委員。 (社)日本機械工業会、(社)日本産業機械工業会、(社)日本機械輸出組合、(社)CJC、 (社)日本環境衛生施設工業会、(社)日本環境衛生センター、(社)エンジニアリング振興協会、 (社)廃棄物学会海外委員、エネルギー・資源学会企画委員、(財)海外技術者研修協会講師。 DXN汚染調査、3R調査、焼却標準化、次世代環境技術調査、海外環境調査					
2003-2005	(独)産業技術総合研究機構環境管理部門レビューボード委員					
2004-2007	環境総合開発センター長 新技術・新事業開発:DXN汚染物焼却、電気式・油式灰溶融、乾式廃プラ分別、半湿式ごみガス化、亜臨界圧水処理、画像式燃焼制御、地下式ごみ焼却場計画他					
2009-2012	(NPO)で産官学連携による新事業支援、剪定枝植織チップの土壌改良材化、バイオマス利活用。技術士会近畿本部で新潟地裁長岡支部技術鑑定員(2011)。					
2012-現在	中国上海市・内蒙古自治区科技協会他と交流。モンゴル国モンゴル科学技術大学他と起業化交流。環境塾講師(開発管理・熱工学:2005-現在)。					
主な技術業績(著作など)						
	1996廃棄物ハンドブック(共著 電気計装編)廃棄物学会編					
	1998(社)日本産業機械工業会50年史(共著 一般廃棄物処理)					
	1999ごみ処理施設整備の計画・設計要領(共著 連続運転式焼却施設):(社)全都清、他					
2004-2006	次世代型環境装置・プラントに関する調査研究(共著 平成17-18年度):(社)産機工					
	2008機械工学便覧 応用システム編 γ10 環境システム:環境負荷低減材料など(共著)					
中国との技術交流・海外環境調査						
1999-2007	(社)日本産業機械工業会・(社)日本機械輸出組合環境部会で中国環境調査、展示会参加					
2001-2008	日中科学技術協会運営委員(協定締結:北京市・上海市・遼寧省・大連市科学技術協会)					
2010-現在	第16次日本技術士友好訪中団(2010) 中国上海市・内蒙古自治区科技協会交流					

社団法人日本技術士会・近畿本部登録 中国研究会 (2017.1.18)

日本技術士友好訪中団(近畿本部主催)を含む日中交流の歴史

訪中団次数	期日	訪中訪日団員数	訪問先
第1次	1986.8.8より9日間	22名	北京、フフホト、上海
第2次	1987.9.25より9日間	25名	北京、フフホト、西安、上海
第3次	1988.8.12より11日間	28名	北京、フフホト、天津、上海
第4次	1989.9.10より15日間	14名	北京、天津、フフホト、蘭州、酒泉、敦煌、トルファン
第5次	1990.4.25より13日間	20名	北京、フフホト、天津、済南、重慶、誼昌、上海、武漢
第6次	1991.4.26より12日間	23名	北京、フフホト、天津、桂林、上海
第7次	1992.8.9より14日間	16名	北京、フフホト、天津、大連、ハルピン、上海
第8次	1993.4.27より13日間	13名	北京、天津、南京、無錫、杭州、上海
第9次	1994年10.19	約50名	技術士全国大会と時期が重なり、訪中に代え、大阪会場で、中国要人も参加の日中技術交流分科会を開催
第10次	1995.8.10より12日間	22名	北京、フフホト、天津、昆明、シーサンパンナ、石林、上海
第11次	1996.10.16より5日間	8名	上海
第12次	2002.3.4より5日間	3名	上海、慈溪
第13次	2004.11.2より6日間	13名	上海、寧波、蘇州 注)上海の世界技術者大会(WEC2004)に参加
第14次	2006.10.31より4日間	31名	上海 注)上海万博科学技術シンポジウムに参加
訪日	2007.11.10より2日間	26名	神戸、第2回上海万博科学技術シンポジウム (上海市科学技術協会との決定による相互訪問開始)

訪中団次数	期日	訪中訪日団員数	訪問先
第15次	2008.11.2より7日間	27名	上海、寧波、烏鎮 注)上海の省エネ・排出削減シンポジウムに参加
訪日	2009.11.9より3日間	26名	大阪、シンポジウム「環境先進未来都市に向けて」 京都市地下街などを見学
第16次	2010.6.5より11日間	51名	上海、北京、天津、フフホト 注)上海で都市建設科学技術シンポジウム及び万博参観。全団員中13名が北京以降の交流に参加。内蒙古科技協会との交流決定。
訪日	2011.10.28より2日間	45名	大阪、シンポジウム「持続可能な社会をめざして」 大阪府産業技術研究所、太陽光発電所見学
第17次	2012.6.20より4日間	19名	上海、シンポジウム「持続可能な社会をめざして」Part II 崇明島、低炭素コミュニティシステム視察
訪日	2013.11.28より2日間	日本81名 中国29名	京都、シンポジウム「持続可能な社会をめざして」Part III 京都嵐山・金閣寺・琵琶湖博物館見学
第18次	2015.11.1より5日間	13名	紹興・杭州・上海。浙江大学・上海国際工業展
中国研究会主催訪中交流団			
第1回交流	2011.9.12-9.18	4名	内蒙古自治区フフホト市、包頭市
第2回交流	2012.6.25-6.30	4名	内蒙古自治区フフホト市、包頭市
第3回交流	2014.9.13--9.21	7名	長春市・吉林市・瀋陽市・大連庄河市・大連市
第4回交流	2016.10.31-11.5	12名	南通市・南京市・蘇州市・上海市

1 近畿本部「日中科学技術交流・視察団」の歴史

1) 第1期: 1986年第1次訪中団から2002年第12次訪中団

(1) 近畿支部中国部会会長 山田俊満氏(建設)

(2) 中国解放改革の開始時代に合わせた日本の技術紹介・訪日保証人。訪中団計画・実行。

12日間にわたり2年間隔で中国主要都市訪問。関西・東京の建設部会を中心に活動。

2) 第2期: 2004年第13次訪中団から2010年第16次訪中団、2011年第3次訪日団

(1) 近畿支部中国部会会長 山田俊満氏(建設)。幹事長 長 惇夫氏(機械)

(2) 2004年上海市世界技術者大会参加、2006年上海市科学技術協会との相互訪問協定。

2010年上海市万博開催に伴う、大阪万博の経験を上海万博に活用・支援。

上海市科学技術協会、上海市工程師学会、上海市留日同学会との交流が中心。

1. 近畿本部 「日中科学技術交流・視察団」の歴史

3) 第3期:2012年第17次訪中団から2015年第18次訪中団、2013年第4次訪日団
中国研究会主催:2011年内蒙古交流団から2016年第4回訪中団

(1) 近畿本部登録中国研究会(組織改変)会長・幹事長 掛田健二氏(衛生)

(2) 上海市訪日団派遣が経済的理由他で、2013年第4次訪日団で中止。
訪中団のみ派遣。

(3) テーマ絞り少人数訪中団(補助金無し)を、中国研究会主催で開始。

(4) 2013年1月から中国研究会例会で業務紹介・話題提供を開始。
学術会員・休眠会員制度。

(5) 2014年吉林省吉林市科技協会、大連庄川市と連携会議開催。
長期交流テーマを提示。

(6) 2016年江蘇省工程師学会訪問。交流継続を確認。
上海市科学技術協会と友好関係継続

2. 2015日中科学技術交流・視察団 からの長期交流テーマ

近畿本部日中科学技術交流小委員会では2015年に、下記3点を中国各団体との「主な交流テーマ」とし、「地域特性に合った追加事項」で交流することを基本と決定している。

2015年11月上海市科学技術協会と2016年以降の交流案件を下記の点で合意。

吉林市科学技術協会、内蒙古自治区科学技術協会とも同様案件を提案。2016年11月江蘇省工程師学会訪問時に提案済。

1) 社会インフラ(土木構造物、機械・電気・プラントなど)の長寿命化とメンテナンス技術の充実

関連団体: 大阪市大、大阪府大、大阪府、大阪市、阪神高速道路機構、大阪商工会議所

2) 公害防止、公害低減システム(大気・水・土壌・廃棄物・省エネなど)の充実

関連団体: 京大、阪大、大阪商工会議所、e-KANSAI、大阪府、大阪市、滋賀県

3) 人口の高齢化に伴う安心・安全・快適な支援システムと機器類の実現

関連団体: 大阪市大、阪大、大阪府大、立命館大学、大阪商工会議所

なお、先端技術交流に関しては外国為替管理法などの規制を十分考慮し、詳細な技術開示に関しては関連企業と提携するよう中国企業に助言している。

日本技術士会近畿本部登録中国研究会 例会他開催実績(2016.1---2017.4)

No	日時	話題提供題目	所属	発表者	正会員	非会員
34	28.1.21	「広東省における環境規制の現状と課題」聴講報告 「シルクロード開発、AIIBと新たな対外開放」聴講報告	技術士	長野恒巳 掛田健二	9	0
別	28.2.7	有志春節会(春節大晦日、神戸南京町)			7	1
35	28.2.9	「阪神土木技術資詢(上海)有限公司」活動紹介	阪神高速技研	杉江 功	10	1
36	28.3.17	2014年・2015日中科技交流視察報告会(公開)	技術士	江村・長野・石塚・掛田	17	2
別	28.4.7	有志花見(靱公園)			8	0
37	28.4.19	総会・記念講演:ファインバブル(マイクロ・ナノバブル)の基礎・実用・新展開 総会(H27年度活動報告、H28年度計画、人事)	大阪府立大学名誉教授 技術士	上原 赫 掛田健二	16	5
38	28.5.19	ベトナムと中国での企業活動 中国研究会会計問題経過報告、訪中団計画報告	甲南電機(株) 技術士	棕本栄一 掛田健二	9	0
39	28.6.23	JETRO中国高齢者ビジネスの現状と展望 参加報告 大商仲介の中国高齢者ビジネス 参加報告 臨時総会(役員人事)	技術士	掛田健二 江村和朗	11	3
40	28.7.14	オムロンhealth-Careベトナム2014見学報告	技術士	掛田健二	9	0
41	28.9.16	最近の射出成型・プレス機械・工作機械の動向 業務紹介:ガスタービン運転場建設と関連情報	技術士	外山榛一 三木俊明	12	0
42	28.10.20	中国水ビジネス産業の現状と今後の方向性:紹介 知財ブランド協会:知財パラダイム革命を」聴講報告	技術士	天野武彦 掛田健二	11	0
別	10.31-11.5	中国研究会訪中団(南通・南京・蘇州・上海)	団長	掛田健二	10	2
43	28.11.17	ミャンマー国の現状と日本企業の進出状況見学報告 業務紹介「鉄系鋳物鋳造技術の紹介 1」	技術士 (株)クボタ	掛田健二 坪田博隆	10	0
44	28.12.13	訪中団・訪問団報告会	技術士	掛田・小林・三木・江村・金野	15	0
H28年総括					154	14

No	日時	話題提供題目	所属	発表者	正会員	非会員
45	29.1.19	日本の介護制度と、介護事業参入の事例スタディ 無動力歩行支援装置 その他の歩行支援装置	技術士	田村敏雄 掛田健二	14	1
別	29.1.29	有志春節会(神戸南京町)			8	1
46	29.2.16	阪神高速道路の大規模補修と修繕について 揚子江河口 塩田・塩田跡地の現状調査	技術士	福岡 悟 安東尚美	14	0
47	29.3.16	学術講演:IoTなど最近の経営激変雑感	滋賀県立大学 客員教授	鍛冶幹雄	17	3
別	29.4.5	有志花見(靱公園)			10	1
48	29.4.25	総会(H28年度活動報告、H29年度計画) 業務紹介「鑄造技術 2」	(株)クボタ	坪田博隆	12	0
49	29.5.18	マンションの大規模修繕の円滑な進め方 「船舶設計事務所の日中合弁会社」活動紹介	技術士	杉本哲雄 小林幹弘	13	0
50	29.6.15	中国 新「外国人工作許可」制度の現状と労務対策 「民間航空における新技術と日本への期待」聴講報告	技術士	掛田健二 三木俊明	13	0
51	29.7.20	中国古典文学及び漢詩 日本人先達のインフラ見学報告:台湾の八田ダム、西郷堤。 大連市上水用ダム	技術士	久野正博 掛田健二		
52	29.9.14	道路の3次元設計 QSTの紹介と関西光科学研究所の活動	技術士	金野文夫 土田 昇		
別	10.29-11.4	近畿本部訪中団(宜昌・武漢・南京・上海)	団長	掛田健二		

5. 今後の話題提供(仮題): 下記の方々の話題提供を期待します。(1)－(4)は報告が確定。

(1)「化学物質の安全性」 :高 月輝技術士補

(2)「阪神高速技研「阪神土木技術資詢(上海)有限公司」紹介-2: 阪神高速技研(株)執行役員

(3)「医工連携 聴講:AMEDイノベーション、大阪市大健康科学、大阪府産技研「医療機器開発研究会」 :掛田・江村技術士

(4)学術会員 講演(仮題)

- ・西嶋先生 :強磁場を用いた実用化研究(阪大最終講義から) :大学休暇中に可能
- ・周先生 :中国の低炭素化工業団地の現状。東アジア低炭素化構想の進捗状況
(まだ中国に拘束中)
- ・中島学術委員:業務紹介 大阪市大の産官学連携:老齡化対策支援 他

(5)業務紹介(仮題):会員技術士

- ・江村・掛田技術士:聴講報告:海外における介護分野進出、介護機器開発
- ・田岡直規技術士:国内外の技術者倫理の現状と問題点
- ・河野千代技術士:業務紹介
- ・掛田健二技術士:「モンゴル国への日本の援助モデルと技術レベルの向上」

(6)文献・資料紹介:

- ・ヨーロッパの教訓と日本のこれからの電力の動向 ;金子祥三氏講演聴講
- ・JICA他 海外事情説明会聴講報告:モンゴル、ミャンマー、イスラエル、香港、インド、アフリカ

2017年4月18日 中国研究会会長・幹事長 掛田健二
近畿本部登録中国研究会 第5回総会

2) 中国研究会H28(2016)年度例会・有志会開催実績

2016年度活動は、例会No.37(第4回総会。2016.4.19)からNo.47(2017.3.16)の11回の例会を実施。

10.31-11.5に中国研究会主催第4次訪中団12名を、南通・南京・蘇州・上海各市に派遣した。江蘇省工程師学会からの招聘に応じて新技術説明会を実施、歓迎された。研究施設・企業を見学した。

2016.1,29神戸中華街 春節旧正月3日昼食会、2016.4.5鞆公園 花見を、例年通り実施した。

2016年1-12月の参加者数は、例会・特別例会を含め通して会員154名、非会員14名。2016年1-3月は、会員54名、非会員5名であった。2015年実績は会員149名、非会員3名。参加者は漸増に留まる。

2016年12月13日2016年訪中団報告会を昨年に続き公開で行い、会員15名、非会員0名と昨年より減少。近畿本部HP・「きんき」掲載などPR不十分。2017年3月16日学術講演会で滋賀県立大学客員教授鍛冶幹雄氏による「IoTなど最近の経営激変雑感」を公開実施。会員17名、非会員3名と盛会。

12月27日に在大阪中国総領事館の孫淑強領事(経済商務室長)、朱副領事を表敬訪問した。

近畿本部登録中国研究会 第5回総会

近畿本部国際委員会、同日中科技交流小委員会、統括本部海外活動支援実行委員会と連携する。

4)2016日中科学技術交流小委員会への支援

(1) 吉林市科技協会、上海市科技協会、江蘇省工程師学会には、下記を中心に地域特性を加味したテーマで交流を提案している。

- ① 社会インフラ(土木構造物、機械・電気・プラントなど)の長寿命化とメンテナンス技術の充実
- ② 公害防止、公害低減システム(大気・水・土壌・廃棄物・省エネなど)の充実
- ③ 人口の高齢化に伴う安心・安全・快適な支援システムと機器類の実現

(2)江蘇省工程師学会(南京市)との交流

2016年11月初訪問に続き、本年以降も交流を継続する。低炭素・エコロジー・環境改善を中心に、日本の新技術の広範囲の交流を希望しているが、当方の対応力不足で希望に沿う対応は難しい。

(3)2016上海市科学技術協会・上海市工程師学会との交流

訪日団派遣は難しいため、訪中団で訪問し交流を継続する。上海市科学技術協会の下部組織に老工程師組織が組織されており、電子機器や新技術の勉強会、在宅介護や健康に関する会議の開催を計画している。日本のメーカー・専門家の紹介や理科教室などでの協力を考えている。

5) 中国各省の科学技術協会・工程師学会・人材交流協会・留日同学会からの交流打診
(2016年)

(1) 上海市科学技術協会・上海市廃棄物処理・発電企業

ごみ焼却発電、肥料化、廃タイヤリサイクル、廃棄物処理の自動化、廃バスのリサイクル、安全技術・装置に関し、中国企業と日本企業の提携・指導・交流の希望が2016年中旬にあったが、中断している。中国側は、要望技術は複合システムである故、企業同士の技術提携が必要、との認識がある。

(2) 浙江省(杭州市): 本部海外活動支援実行委員会からの募集。

廃棄物発電所のより具体的な技術・装置・システム・メンテナンスの導入が2016年中旬にあった。

例: ごみ発電所の年間8000時間運転、電力削減15%。企業の技術規格・基準・標準化。

研究開発協力案件: 燃料の制作、材料供給、ダスト排出、燃焼最適化、煙浄化システムの効率アップ。

メンテナンスの規格化、スタッフ教育。溶接管理、材料選定。発電設備の定期評価

具体的な案件故、技術士組合のような組織が必要。進捗を見守るが、引合いは中断している。

(3) 同済大学李建華教授からの3年前案件の調査実施

河北省(元黄河下流域、黄力市近郊)干潟のアルカリ土壌(saline and alkaline land)の緑化および修復技術があり、2016訪中団参加の安東技術士が帰国前に独自に現地調査。使用中の塩田、塩田跡地に新都市建設用に緑化を希望していることが判明。具体的な要求事項の引合いを打診する。

(4) 立命館大学周教授案件 遼寧省大連庄河市の農漁業のブランド化・安全安心対策、健康都市作り、

周教授は大連庄河市のアドバイザー、大連理工大学兼任教授。国際3E研究院として、大連庄河市他の低炭素環境団地立上げ、スマートシティ建設計画が、周教授の中国拘束により、トーンダウン状態。

7) 東南アジア・ASEAN諸国との交流・交歓

(1) 近畿本部には対外交流の実行部門が無いため、当面は中国研究会がその任に当たる。

(2) 東南アジア・ASEAN諸国との交流・交歓は、中国研究会の実力に応じて対応する。責任をもって担当地域に取り組む人材が必要。現状の活動人員では、中国の一部地域をカバーするのが精一杯。

引合いがあり、責任を持って対応できる人材がいる団体活動は、下記です。

- ① 本部海外活動支援委員会から、韓日財団による中小企業技術指導(有料)。登録技術士の増加募集。
- ② 交流のあった内蒙古科技協会、吉林市科技協会との技術交流再開への模索
- ③ 経営行動研究学会所属の技術士によるモンゴル国起業化は、中心の竹野内技術士が体調不良で実質引退。モンゴル科学技術大学の日本の支援大学が5校(長岡科技大、豊橋科技大、名工大、京都工繊大、九工大)のネットワーク、寒冷地技術を持つ企業などとの連携で、交流を継続する予定。
- ④ 近畿本部が会員の、大阪商工会議所の対外活動、支援組織の活用。

2015日中科学技術交流・視察 行程報告 2015年11月1日(日)～11月5日(木)

日程	行程・内容
第1日 11/1(日)	大阪→上海→紹興 09:30 関西国際空港より全日空NH973便にて上海へ 11:15 上海浦東国際空港着 専用車で紹興市へ直行
第2日 11/2(月)	終日紹興市内視察 大禹陵・魯迅故居・蘭亭・紹興酒工場を視察
第3日 11/3(火)	紹興→杭州→上海 午前 杭州市内にて浙江大学と交流。午後 上海市へ
第4日 11/4(水)	午前 上海市科学技術協会及び上海市工程師学会と交流 午後 大阪府～上海市友好都市提携35周年記念行事に参加 主題 大阪-上海環境・省エネ技術フォーラム 夕刻講演 日立造船(株)上海・馬向東氏「最近の中国事情」
第5日 11/5(木)	午前 第17回中国(上海)国際工業博覧会視察 会場 上海虹橋CBD核心区 国家展覽中心 午後 上海老港再生能源利用中心見学 19:05 上海浦東国際空港より全日空NH976便にて大阪へ

2016日中科学技術交流・視察団 行程実績報告

日程	行程・内容
第1日 10/31(月)	大阪9:30→NH97→3上海11:15 専用車→南通 15:00 南通 NACKS南通中遠川崎船舶(KHI合弁)見学・交流
第2日 11/1(火)	07:30 南通 専用車→南京へ 13:00-14:40江蘇省産業技術研究院(JITRI)江蘇省工程師学会 14:40-18:00 日本技術者招待講演、中国&日本の技術セミナー Lecture Theme 1: Spirit of the Craftsman 匠の精神(職人精神) Lecture Theme 2: 日本の長期エネルギー政策と技術 Lecture Theme 3 放射線利用技術の最新動向—がん治療
第3日 11/2(水)	12:30 中国電子熊猫集団 8.5世代LCDパネル製造ライン見学 15:00-18:00 中山陵,孔子廟、観光
第4日 11/3(木)	07:30 南京 専用車→蘇州へ 13:00 江蘇亨通光電社 電装品・通信システム見学・交流
第5日 11/4(金)	午前 蘇州観光 寒山寺、拙政園 蘇州 専用車→上海 午後 上海市科学技術協会表敬訪問 晩 黄浦江夜景クルーズ、和平飯店老人ジャズバンド鑑賞
第6日 11/5(土)	午前 中国(上海)国際工業博覧会視察、大阪市大ブース訪問 午後 帰国 2班、現地調査1名。 20:50 NH976便にて大阪へ(中国大気汚染の影響で空港大混乱) 23:50 関西空港第1ターミナル着(同上の為大幅延着)

2017日中科学技術交流・視察 日程表 (案)

月/日	都 市	工 程・内 容
D1 10/29 (日)	関空 上海 宜昌	JL897 関空14:40/浦東16:25 上海→宜昌(国内線(航空機)) MU2676/浦東19:20-宜昌21:45
D2 10/30 (月)	宜昌 三峡ダム 武漢	08:00宜昌市内・三峡下り乗船体験(船) 葛洲坝、西陵峡、黄陵廟 船着場で下船 午後:三峡ダム見学(バス(混載車)) その後:専用車にて武漢へ(片道約4時間)
D3 10/31 (火)	武漢 南京	武漢市内 黄鶴楼、湖北省博物館、武漢天地 武漢→南京(高速鉄道)
D4 11/1(水)	南京	南京 江蘇省工程士学会との交流
D5 11/2(木)	南京 上海	南京→上海(高速鉄道) 上海到着後、上海市科技協表敬訪問
D6 11/3(金)	上海	上海:在宅介護シンポジウムに参加 (上海の在宅介護シンポのみ参加可能)
D7 11/4(土)	上海 関空	午前:同上展示会参観 国際線にて上海→関空(航空券各自購入) JL898 浦東17:50/関空21:00

ご静聴 感謝